



2013年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2012年9月27日

上場会社名 株式会社ツヴァイ 上場取引所 東  
 コード番号 2417 URL http://www.zwei.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮武 正容  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)後藤 喜一 (TEL)03(3519)7401  
 四半期報告書提出予定日 2012年10月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2013年2月期第2四半期の業績 (2012年2月21日～2012年8月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2013年2月期第2四半期	2,055	13.5	125	157.4	144	115.3	71	—
2012年2月期第2四半期	1,810	△6.3	48	△74.7	67	△68.4	2	△97.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2013年2月期第2四半期	18 27	18 09
2012年2月期第2四半期	0 69	0 69

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2013年2月期第2四半期	4,637	3,710	79.5
2012年2月期	4,431	3,659	82.2

(参考) 自己資本 2013年2月期第2四半期 3,688百万円 2012年2月期 3,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2012年2月期	— —	0 00	— —	30 00	30 00
2013年2月期	— —	0 00			
2013年2月期(予想)			— —	30 00	30 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2013年2月期の業績予想 (2012年2月21日～2013年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	—	500	—	520	—	280	—	71 79

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2013年2月期は、12ヶ月8日の変則決算となるため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2013年2月期 2 Q	3,900,000株	2012年2月期	3,900,000株
2013年2月期 2 Q	236株	2012年2月期	236株
2013年2月期 2 Q	3,899,764株	2012年2月期 2 Q	3,899,863株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の厳しい経済環境からは回復基調にあるものの依然として先行き不透明な状況が続いております。当社事業における経営環境につきましても、お客さまニーズの多様化とともに、お客さまとの接点やそのコミュニケーション手段等についても大きく変化しております。当社は、そのニーズの多様化や変化に素早く対応していくことで、お客さまの幸せな出会いの創造と豊かな社会づくりに貢献をしております。

その取り組みとして当第2四半期累計期間においては、「既存事業の再構築」「新しい事業・サービスの開発」「アジアでの事業展開」を重点的に実施してまいりました。

#### ①「既存事業の再構築」

当第2四半期累計期間におきましては、営業力の強化、会員サービスの向上を目的に、ご入会からご成婚までの会員活動が一貫性を持って実施できるよう組織変更を実施いたしました。また、広告宣伝だけでなく法人団体契約企業からの新規入会者の増加のために、営業部の役割を見直し、各エリアにおいて機動的に法人団体契約企業に対する営業活動を推進いたしました。その結果、法人団体契約企業からの新規入会者は、前年同四半期比35.0%増となりました。

広告宣伝については、新たに映像媒体によるプロモーションを実施いたしました。メトロビジョン、映画館、屋外ビジョン、CSテレビCMなどで映像媒体を実施し、認知度向上とブランディングに取り組みました。

新たな顧客の創造の取り組みとして、イオングループで実施したシニアイベントへの参加などシニア層へのアプローチをするとともにシニア層向けのサービスを強化いたしました。この結果、50歳以上のお客さまの新規入会者は、前年同四半期比32.0%増となりました。また、当社の会員構成比が低い27歳以下のヤング層のお客さまを対象として、入会しやすい料金体系を設定したコースを販売しました。この取り組みにより27歳以下の新規入会者は前年同四半期比31.0%増となりました。

当第2四半期累計期間の出店につきましては、首都圏の強化を図るため、全国54店舗目、首都圏においては14店舗目となる「ツヴァイ川崎ルフロン」を5月18日にJR川崎駅前の商業施設「川崎ルフロン」に開設いたしました。

#### ②「新しい事業・サービスの開発」

パーティ・イベント事業「クラブ・チャテオ」につきましては、パーティ開催エリアを拡大し、4月より中部エリアでのパーティを開始いたしました。また、前年開設した東京銀座ラウンジに続き、6月に大阪心斎橋に専用のパーティラウンジを開設し、関西エリアでの開催数の大幅拡大に取り組みました。これによりパーティ開催数は、前年同四半期比287.6%増となりました。

ウエディング事業につきましては、従来の会員向けウエディングサービスのノウハウを生かし、今後一般顧客向けのサービスとして、イオンショッピングセンターを中心にウエディング相談事業を実施してまいります。その第1号店として8月19日に「イオンレイクタウン越谷」に「ウエディングデスク」を開設いたしました。

③「アジアでの事業展開」

タイでの事業につきましては、6月2日にバンコク中心部に位置するショッピングセンター「セントラルワールド」に第1号店を開設し営業を開始しております。まずはご紹介の基礎となる会員数を増やすとともに、パーティ等での収益拡大に努めてまいります。

これらの取り組みにより、当第2四半期累計期間の入会金売上は、新規入会者数5.4%増と入会単価12.8%増により、前年同四半期比25.3%増となりました。情報提供料売上は、会員数増加および単価の上昇により前年同四半期比7.4%増となりました。その他の売上につきましては、チャティオ事業の拡大等により前年同四半期比46.0%増となりました。

コストにつきましては、新規入会者増に伴う支払コミッション等の入会事務コストの増加等により売上原価は前年同四半期比6.2%増となりました。また、新規出店・システム投資等による減価償却費と地代家賃の増加や新規事業等への人員配置を実施したことによる人件費の増加等により、販売費及び一般管理費は前年同四半期比13.1%増となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、20億55百万円（前年同四半期比13.5%増）、営業利益1億25百万円（前年同四半期比157.4%増）、経常利益1億44百万円（前年同四半期比115.3%増）、四半期純利益71百万円（前年同四半期比2,531.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて97百万円増加し、30億48百万円となりました。主な要因は、現金及び預金と関係会社預け金の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1億8百万円増加し、15億88百万円となりました。主な要因は、株式の時価評価による投資有価証券の増加額1億39百万円によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて2億5百万円増加し、46億37百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて1億32百万円増加し、6億78百万円となりました。主な要因は、買掛金、前受金、流動負債その他等の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて22百万円増加し、2億47百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億54百万円増加し、9億26百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて50百万円増加し、37億10百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少額45百万円と株式の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加額89百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて1億2百万円増加し、24億26百万円となりました。

当第2四半期累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ51百万円増加し、2億54百万円となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益1億44百万円、減価償却費68百万円、営業債務の増加額47百万円、前受金の増加額35百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べて1億14百万円減少し、34百万円となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得26百万円、無形固定資産の取得23百万円、保険積立金の積立による支出76百万円であります。収入の主な内訳は、保険積立金の解約による収入98百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果使用した資金は、1億16百万円となりました。その内訳は、配当金の支払額であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2013年2月期の業績予想につきましては、2012年4月5日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2011年2月20日)	当第2四半期会計期間 (2012年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	389,078	426,769
売掛金	353,355	342,505
預け金	135,007	—
関係会社預け金	1,800,000	2,000,000
金銭の信託	204,894	204,703
その他	70,453	76,315
貸倒引当金	△1,412	△1,549
流動資産合計	2,951,377	3,048,744
固定資産		
有形固定資産	172,365	162,631
無形固定資産	95,270	87,728
投資その他の資産		
投資有価証券	524,772	663,827
関係会社株式	87,122	87,122
敷金	273,132	281,193
保険積立金	327,460	304,883
その他	396	1,492
投資その他の資産合計	1,212,884	1,338,519
固定資産合計	1,480,520	1,588,879
資産合計	4,431,898	4,637,624
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,367	110,773
未払法人税等	72,519	77,086
前受金	199,015	234,792
賞与引当金	12,991	20,746
役員業績報酬引当金	20,690	16,987
その他	177,650	218,570
流動負債合計	546,234	678,956
固定負債		
退職給付引当金	45,148	50,710
繰延税金負債	81,071	136,176
資産除去債務	51,143	44,759
長期未払金	48,330	16,260
固定負債合計	225,694	247,907
負債合計	771,929	926,863

株ツヴァイ(2417)2013年2月期第2四半期決算短信[日本基準](非連結)

(単位：千円)

	前事業年度 (2011年2月20日)	当第2四半期会計期間 (2012年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	444,000	444,000
資本剰余金		
資本準備金	450,000	450,000
資本剰余金合計	450,000	450,000
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
任意積立金	2,070,000	2,270,000
繰越利益剰余金	333,176	87,434
利益剰余金合計	2,463,176	2,417,434
自己株式	△312	△312
株主資本合計	3,356,864	3,311,121
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	287,876	377,706
評価・換算差額等合計	287,876	377,706
新株予約権	15,228	21,932
純資産合計	3,659,969	3,710,760
負債純資産合計	4,431,898	4,637,624



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2011年2月21日 至 2011年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年8月20日)
売上高	1,810,966	2,055,252
売上原価	908,958	964,972
売上総利益	902,007	1,090,280
販売費及び一般管理費	853,247	964,757
営業利益	48,759	125,523
営業外収益		
受取利息	4,673	3,344
受取配当金	12,924	12,998
その他	751	3,151
営業外収益合計	18,349	19,495
営業外費用	0	511
経常利益	67,108	144,507
特別損失		
災害による損失	10,592	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,949	—
その他	98	—
特別損失合計	48,639	—
税引前四半期純利益	18,469	144,507
法人税、住民税及び事業税	6,978	73,694
法人税等調整額	8,782	△437
法人税等合計	15,761	73,256
四半期純利益	2,707	71,250

(株)ツヴァイ (2417) 2013年2月期第2四半期決算短信[日本基準](非連結)

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2011年2月21日 至 2011年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	18,469	144,507
減価償却費	59,970	68,146
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	137
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,420	7,755
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	△4,617	△3,703
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,833	5,561
受取利息及び受取配当金	△17,598	△16,343
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,949	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,559	10,850
金銭の信託の増減額 (△は増加)	53,517	191
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△51	577
営業債務の増減額 (△は減少)	19,799	47,406
前受金の増減額 (△は減少)	61,150	35,776
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	17,675	33,188
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△32,070
その他	△37	5,578
小計	251,918	307,561
利息及び配当金の受取額	20,865	16,220
法人税等の支払額	△69,534	△69,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	203,249	254,562
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△64,567	△26,303
無形固定資産の取得による支出	△27,262	△23,097
敷金の差入による支出	△4,600	△8,661
敷金の回収による収入	2,459	600
保険積立金の積立による支出	△55,508	△76,356
保険積立金の解約による収入	—	98,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,480	△34,885
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△116,994	△116,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,994	△116,992
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△63,224	102,684
現金及び現金同等物の期首残高	2,258,158	2,324,085
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,194,933	2,426,769

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。